

東区の概要

堺市東区は、市域の中央東部に位置しており南部は大阪狭山市と接しています。南海高野線沿線を中心とした市街地や農地などからなっており、初芝や大美野など昭和初期に計画的に開発・整備された住宅地が広がる一方、農村地域では、古いまち並みやため池などの自然環境が多く残っています。この区域は、もともと南河内郡の南八下村、日置荘町、登美丘町でしたが、昭和30年代に堺市と合併しました。平成9年に東支所が開所し、平成18年に堺市の政令指定都市移行にともない「東支所区域」が「東区」となりました。

近年では、南海高野線北野田駅前の再開発事業により、東文化会館（生涯学習施設・文化ホール）、東図書館、商業施設などが次々と完成し、近隣市を含む市東南部地域の核として発展しています。